

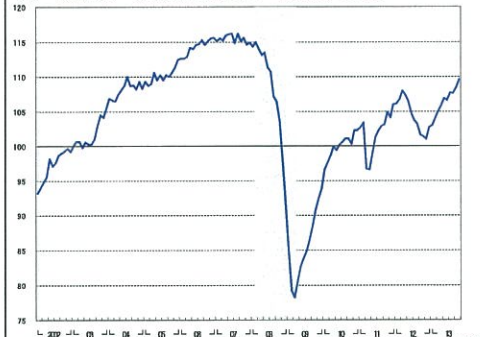
経済指標データ

～経済指標の中から生活衛生関係営業の経営環境に関連する主な指標についてご紹介します～

2013年12月18日現在

景況

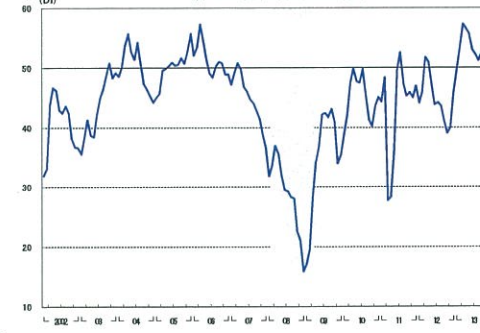
景気動向指数(CI-一致指数)の推移



資料:内閣府「景気動向指数」
(注)横軸は景気後退期、以下同じ。

- 10月のCI一致指数(2010年=100)は109.6と、前月比1.2ポイント上昇した。2ヵ月連続で上昇した。
- 内閣府は一致指数の基調判断を「改善を示している」に据え置いた。

景気の現状判断DIの推移

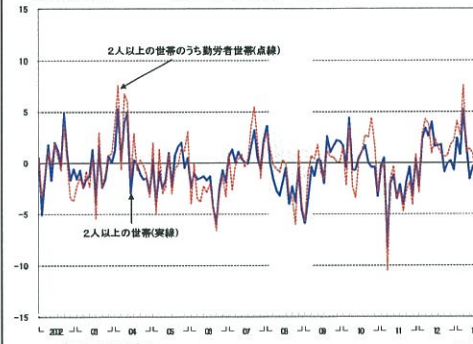


資料:内閣府「景気ウォッチャー調査」

- 11月の現状判断DIは53.5と、前月比1.7ポイント上昇した。2ヵ月ぶりに上昇した。
- 家計動向関連DIは、消費者の購買意欲の改善や客単価の上昇に加え、消費税引上げ前の駆け込み需要もあって高額品、自動車、家電を中心に売上が増加したこと等から上昇した。
- 内閣府は基調判断を「景気は、緩やかに回復しつつある」とした。

家計

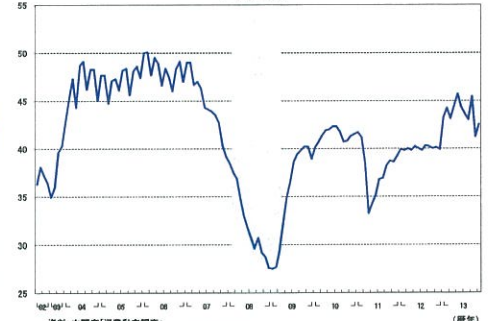
消費支出(実質)の推移



資料:総務省「家計調査」

- 【2人以上の世帯】
- 10月の2人以上の世帯の消費支出は290,676円と、前年同月比(実質)0.9%増加した。2ヵ月連続の増加となった。

消費者態度指数の推移
(一般世帯)

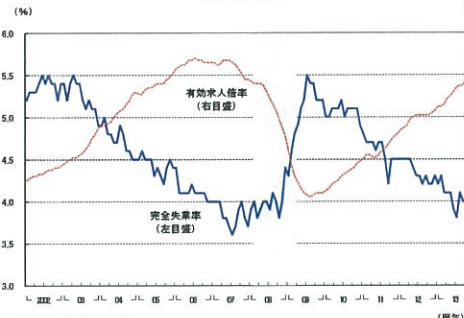


資料:内閣府「消費動向調査」
(注)1.2004年2月までは3.6、9.12月に調査を実施。
2.2004年4月以降は前年度同月と調整。
3.2013年4月調査より調査方法を変更したため、それ以前の結果と不連続が生じている。

- 11月の消費者態度指数は42.5と、前月比1.3ポイント上昇した。2ヵ月ぶりの上昇となった。
- 内閣府は基調判断を「改善基調にある」とした。

雇用

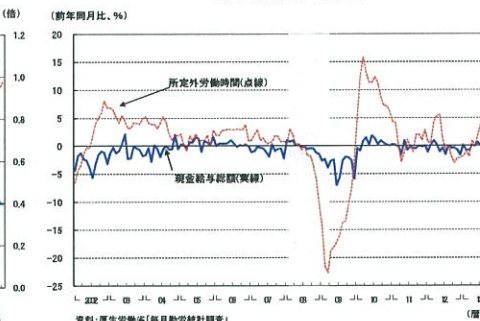
完全失業率・有効求人倍率の推移
(季節調整値)



資料:総務省「労働力調査」
厚生労働省「職業安定業務統計」

- 【完全失業率】
- 10月の完全失業率は4.0%と、前月から横ばいとなった。
- 【有効求人倍率】
- 10月の有効求人倍率は0.98倍と、前月から0.03ポイントの上昇となった。

現金給与総額と所定外労働時間の推移
(事業所規模5人以上)

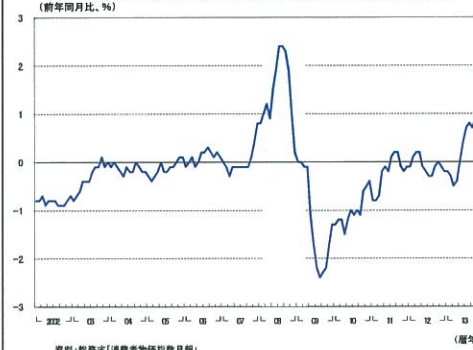


資料:厚生労働省「毎月勤労統計調査」

- 【現金給与総額】
- 10月の現金給与総額は267,167円と、前年同月比0.1%増加した。
- 【所定外労働時間】
- 10月の所定外労働時間は10.8時間と、前年同月比4.9%増加した。

物価

消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数)の推移



資料:総務省「消費者物価指数月報」

- 10月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合指数、2010=100)は100.7と、前年同月比0.9%上昇した。5ヵ月連続の上昇となった。
- 円安を背景とした電気代やガソリン代などの上昇などの影響によるものとみられる。

原油価格(WTI)の推移



資料:ニューヨーク・マーカンタイル取引所ホームページ
(注)期送物の終値

- 11月29日の終値は期近の1ヵ月物で92.72ドルとなり、前月の終値96.38ドルから下落した。